

# 安心して認知症になれる町をめざして

たんのともふみ  
丹野智文 in 鳥取県日野郡

## 『認知症当事者の想いを知る映画上映&講演会』

2月5日から7日までの3日間、認知症当事者である丹野智文さん（仙台市）を日野郡にお迎えして様々な催しが行われました。日南町では、2月7日に映画「オレンジ・ランプ」の上映と、映画のモデルとなった丹野智文さんご本人の講演、そして県内在住の認知症当事者とのトークセッションを行い、町内外から約170名の方にご来場いただきました。

丹野さんは、認知症を悔やむのではなく“認知症とともに生きる”という道を選んだと語られました。「認知症になったら終わりじゃないし、診断されても本人は何も変わらない、変わってしまうのは周りのほう。本人たちの一番の不安はすべてを奪われること。失敗しないようにと家族や支援者が先回りして行動を制限するのは依存させてしまうだけ。失敗してもいいから自分で選んで決めることが大切。」と講演されました。

トークセッションでは感心したり笑いが起きたりし、前向きに生きている本人さんたちから元気をもらいました。



### ～参加者の感想～

- ・日南町にある会社、団体、事業所の関係者の方にも映画を見ていただき、自分の所なら？と考えてみてほしいなあとと思います。
- ・「認知症は予防できない。備える事はできる。そのためには日々の生活を大切に生きること。」印象的な言葉でした。
- ・まず自分ごとに考え、当事者になったとしても、自分で考え、工夫して生活していくこと、人生を楽しむこと、沢山の人や仲間と助け合うことなど、決して生きること諦めてはいけなと感じた。偏見がない町、当事者の事を信じて向き合える町をつくっていけるように自分ができる事をしたり、映画や対談で印象に残ったお話を伝えたりしていきたいと思いました。

### みんなのしゃべり場

医療介護専門職、地域のボランティア約60名が集まり、認知症の人と家族の会鳥取県支部代表の吉野立さん、丹野さんとの意見交換を行いました。

#### ～参加者の感想～

- ・よかれと思ってしていた優しさが本人の工夫や自信を奪っていたと気づかされました。
- ・本人が決める、選ぶということは、認知症でも自分らしく生活していくために大切だと改めて感じました。

### おれんじドア日野郡

認知症の本人同士、家族同士がそれぞれ交流しました。どちらのグループも話が盛り上がり、初めて参加された方も皆さん笑顔になって帰られました。

#### ～参加者の感想～

- ・気兼ねなく話ができて本当によかった。また参加したいです。

【問合せ】 地域包括支援センター  
電話：82-0374

丹野さんの著書も  
オススメです！  
日南町図書館に  
ありますよ。

